

物語と歴史の舞台 宇治を訪ねる

◆実施期日：令和8年10月28日(水) 雨天決行 現地集合

◆集合：JR宇治駅南出口 ロータリー前 10時00分(出発：10時15分)

◆訪問先 (健脚向き 全行程ガイド案内解説実施)

【午 前】 宇治川太閤堤跡(国指定史跡)

16世紀末に豊臣秀吉により築造された『太閤堤』の一部。平成19年6月に発見され、埋め戻した真上に復元された。築造後すぐの洪水で埋没したため、当時の土木技術を具体的に示す遺跡として貴重。(発掘調査の詳細なパンフレットを配布。)

お茶と宇治のまち歴史公園 茶づなミュージアム(自由見学)

宇治茶の成り立ちから宇治の歴史をデジタル展示や実際に手で触れられる展示で紹介。

【昼 食】 京料理 宇治川 抹茶そばセット

【午 後】 興聖寺(こうしょうじ)

曹洞宗最古の禅宗道場を源流とし、江戸時代に淀藩藩主永井尚政により再興された。法堂に伏見城の血天井が残る。祠堂殿に「源氏物語」宇治十帖の「手習い」ゆかりの『手習い観音』(平安時代/重要文化財)を安置。宇治川に面した表門より中国風の山門までの参道は『琴坂』と呼ばれ、紅葉と桜の名勝。興聖寺ご住職による拝観案内と解説。

宇治上神社(世界文化遺産/国宝)(うじかみじんじや)

本殿(国宝/平安時代)は現存する神社本殿としては最古の建築。拝殿(国宝/鎌倉時代)も寝殿作りの住宅風で、現存する最古の拝殿。古くからあった社であるが、平等院鳳凰堂完成後、その鎮守とされた。明治初期まで宇治上神社を宇治離宮明神の上社、宇治神社(本殿/重要文化財)を下社とよび、二社一体の存在であった。

塔の島 十三重石塔(重要文化財/鎌倉時代)

1286年、叡尊(えいそん)律師が宇治橋再興にあたり、魚霊の供養と宇治橋の安全祈念のため造立。高さ約15.2mで現存する近世以前の石塔としては日本最大。

【解 散】 16:00頃 宇治観光センターにて解散

◆参加費：3,600円(ガイド料、拝観入場料、昼食費、保険料込み)

金額は概算です。Web申込の場合はメール送信で、往復はがき申込の場合は返信はがきにて金額をお知らせ致します。なお、参加費は参加者様による友の会口座への事前振込(振込手数料は参加者様負担)になっておりますのでご注意ください。

◆参加申込受付期間：9月12日(土)～9月26日(土)

申込は歴史博物館ホームページからのWeb申込または往復はがきでお願いします。往復はがきでは①もよし名(必ず記載願います)②住所③名前④年齢⑤携帯電話番号(当日連絡のつく携帯電話番号)⑥会員番号を記入ください。

(一人一枚のはがきで応募願います。)

申込先：〒670-0012 姫路市本町68番地

兵庫県立歴史博物館 事業企画課 友の会事務局 TEL:079-288-9011

◆募集定員：30名(会員限定、定員超えの場合は抽選)

- ・キャンセルは早めに連絡下さいますようお願い致します。
- ・荒天等により中止の場合もあります。



太閤堤



興聖寺



宇治上神社



十三重石塔